

# 生物多様性講座 開催報告

## チョウの鱗粉転写

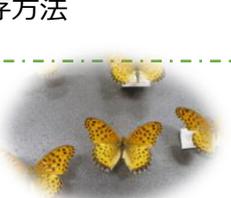
7月24日(木) 13:00~14:30

★ 参加人数 子ども17名、大人10名

### 1. お話し：昆虫の不思議と採集方法

#### 講師 ビオトープネットワーク中部 宇野先生

- ・昆虫採集する時の注意点
- ・虫の捕り方：道具紹介：捕虫網の種類・トラップの種類と方法
- ・とりたい昆虫のいる場所を知る。チョウの食草・植樹
- ・浜松市内の希少種→ギフチョウ・ヒメヒカゲ
- ・採った昆虫の保存方法



### 3. 参加者の声

- ・虫を捕まえる時には、セミ専用の小さな網や水生生物用の横幅が広い網など様々な網の種類があることを知りました。
- ・チョウの中にも数が減っているものがあるということが分かりました。絶滅危惧種のチョウは捕まえられない。
- ・チョウの種類によって幼虫の餌が違ってくるということが分かりました。
- ・どこにチョウが集まるか分かりました。
- ・虫捕り網の種類がたくさんあることが分かりました。
- ・チョウの種類によってエサが違ってくるということが分かりました。
- ・鱗粉転写がどのようなものかが知れてよかったです。生き物を飼うのが命を無駄にする感じがして苦手だけれども、チョウの命が尽きた後もこうして後に残すことができることが分かりました。
- ・虫を捕まえる時の服装に注意したいです。
- ・蝶の羽を切る時に勇気がいりました。

### 2. 体験「鱗粉転写（りんぷんてんしゃ）」

- ・標本づくりの中に鱗粉を写し取る方法があることを知りました。
- ・羽の模様の違いや色の違いを詳しく知ることができました。
- ・鱗粉の転写が上手にできました。
- ・ロウを塗ってから鱗粉を写し取ることを知りました。
- ・鱗粉を写し取る時に、何かが折れるような音がしました。
- ・思っていた以上にきれいに鱗粉が転写ができました。
- ・転写の際には、意外に力が必要なの分かりました。

